

事業所名

こども家族みらい応援団 オバフロ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもたちの生きる力の土台を作り　笑顔と感動があふれるこの場所で　自分らしく生きられる将来を　家族と共に信じ、支え、作り上げていく								
支援方針		・子どもたちの好きなこと、夢中になれることに目を向け、伸ばしていく。 ・一人一人の興味や関心に合わせた様々な体験を通じてスモールステップを積み重ね、出来ることを増やし、子どもたちの自己肯定感を高める。 ・『きっかけ』と『結果』に着目し、良い行動を維持、増やしていけるよう支援する。								
営業時間		9 時	30 分	から	13 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・体温測定や気分の把握等心身の状態の把握 ・定時通所等により、生活リズムを整える ・靴の脱ぎ履き、衣類の着脱、鞆の収納、手洗い・うがい・消毒、排泄、食事、おもちゃの片付け等基本的な生活スキルの獲得								
	運動・感覚	・感覚調整や運動能力の向上を目指した各種活動及び日常生活や学習活動への支障の軽減 ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、製作・積み木・パズル・クッキング・知育玩具等による微細運動、及びボルダリング・雲底・登り棒等の室内遊具、8の字平均台・バランスストーン・ヨガハンモック・トランポリン等を組み合わせたサーキット、リトミック、風船遊び、戸外遊び等による粗大運動等の遊びを通じた支援								
	認知・行動	・認知の偏りの予防と適切な行動への対応力の養成 ・朝の会や終わりの会での挨拶、お友達や職員の名前呼び、スケジュール提示、振り返り等、玩具・製作・知育活動等による形、色、音、大きさ、長さ、重さの違い等の習得								
	言語 コミュニケーション	・適切なコミュニケーション能力の獲得と自己表現力の向上を目指した各種活動 ・一人一人の特徴等にに応じて絵カードや身振り手振りを使ったコミュニケーション。遊びの中で、職員が子どもの気持ちを代弁したりお手本を見せたりしながら、自分の気持ちが相手に伝えられる喜びを知り、お友達や職員とのコミュニケーションを楽しみ、他者と関わりながら遊びの楽しさを感じられるように支援をする。								
	人間関係 社会性	・遊び等を通じて、人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援 ・感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから見立て遊びやごっこ遊び等の象徴遊びを通して徐々に社会性の発達を支援し、一人遊びの状態から並行遊びを行い、職員が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援								
家族支援		連絡帳（写真を含む）等による施設での様子や家庭での様子等々情報を共有する。子育てに関する困りごと等いつでも何でも相談しやすい環境を整備する。保護者同士が交流する機会の確保。家族で参加出来るイベントの開催。					移行支援		就学や就園に関する相談受理。就学・就園の手続き等に関する情報提供及び就学先等への見学同行。就学先等との情報共有及び連携。	
地域支援・地域連携		保育園、幼稚園や他事業所等との情報共有及び連携。他事業所等への見学　北区自立支援協議会こども部会への参加。					職員の質の向上		各種勉強会や外部研修への積極的な参加。事業所内での伝達教養、各種研修の実施。	
主な行事等		その時、その時、季節を感じられる行事等（お誕生日会、お正月の昔遊び、節分、ひなまつり、七夕、中秋の名月、ハロウィン、紅葉狩り、クリスマス等）								